

2025 年 7 月 18 日

プレスリリース

**IPBES シンポジウム「ネイチャーポジティブ社会の実現に向けたネクサス・アプローチ：
IPBES 評価報告書を地域の視点で読み解く」共催**

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES＝アイジェス)は、環境省が 2025 年 8 月 5 日(火)に開催する生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム(IPBES)シンポジウム「ネイチャーポジティブ社会の実現に向けたネクサス・アプローチ:IPBES 評価報告書を地域の視点で読み解く」を共催します。

豊かな生物多様性に支えられた生態系は、私達の社会・経済・暮らし・文化の基盤として、人類に様々な恵みをもたらします。しかし、人間活動の影響により、地球全体でかつてない規模で生態系の破壊や劣化、気候変動による災害といった事象が多々発生しています。IPBES が 2024 年 12 月に公表した「生物多様性、水、食料及び健康の間の相互関係に関するテーマ別評価(ネクサス評価)報告書」は、生物多様性や水、食料、健康、気候変動の間の複雑な相互関係の現状評価と将来予測に基づいて、課題ごとの「縦割り」対策の弊害を指摘しました。その上で、分野横断の連携により、多くの課題に対して広くポジティブな効果を発揮する「ネクサス・アプローチ」の具体例や実践方法を提示しています。

本シンポジウムでは、ネクサス評価報告書の内容を紹介するとともに、ネクサス・アプローチに関連する研究や地域における実践例を踏まえ、ネイチャーポジティブ社会の実現に向けたネクサス・アプローチとは何かについて議論します。

【開催概要】

日 時:2025 年 8 月 5 日(火)13:30～15:30

※対面参加される報道関係者には、会場にて取材時間(15:30～16:30)を確保しています。

開催形式:オンライン(Zoom ウェビナー)

主 催:環境省

共 催:公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)

協 力:環境研究総合推進費 戦略的研究開発課題(S-21)

詳細・参加申込み:<https://www.iges.or.jp/jp/events/20250805>

対面参加について(報道関係者限定):

本シンポジウムは、東京メイン会場(新橋ビジネスフォーラム)と宮城県南三陸町サテライト会場(南三陸・海のビクターセンター)を中継し、両会場から一般視聴者向けに Zoom ウェビナーで配信します。報道関係者の方のみ両会場での対面参加を受け付けます。ご希望の方は、以下の環境省報道発表に記載の申込先に、2025 年 7 月 29 日(火)16 時までにお申し込みください。

環境省報道発表「2025 年度 IPBES シンポジウムの開催について」

https://www.env.go.jp/press/press_00157.html（2025 年 7 月 18 日発表）

生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム(IPBES)について

IPBES は、生物多様性と生態系サービスに関する動向を科学的に評価し、科学と政策のつながりを強化する政府間のプラットフォームとして 2012 年に設立された政府間機関です(事務局:ドイツ・ボン／現在 150 カ国が参加)。科学的評価、能力養成、知見生成、政策立案支援の 4 つの機能を柱とし、気候変動分野で同様の活動を進める気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の例から、生物多様性版の IPCC と呼ばれることもあります。

IPBES に関する IGES の活動について

IGES では、これまでに IPBES の「アジア・オセアニア地域評価」「侵略的外来種とその管理に関するテーマ別評価」の技術支援機関(TSU)をホストし、各評価報告書作成を支援してきました。2024 年には IPBES シナリオ・モデルタスクフォースの TSU を IGES 東京サステナビリティフォーラム内に設置し、各種の IPBES 評価プロセスに対してシナリオ・モデルに関する助言や支援を行っています。また、今回のネクサス評価報告書をはじめ IPBES 各評価報告書の執筆に多くの IGES 研究員が携わってきたほか、IPBES の成果に関する国内での情報発信や対話の促進に積極的に取り組んでいます。